



鳥栖っ子

学校合言葉

～ わ をつくろう ～

令和7年5月23日（金）

鳥栖市立 鳥栖小学校

文責 校長 古賀 泰伸

“手と手をつなぎ 心をつなぎ わ になって” みんなで助け合う みんなの笑顔のために

ご存じですか!?

みなさん、ご存じですか？鳥栖小学校では「コミュニティ・スクール」に取り組んでいることを。このコミュニティ・スクールとは、保護者と地域の代表者と学校の代表とが集まる「学校運営協議会」を設置して、保護者と地域、学校が連携・協働して学校運営を行う仕組みのことです。保護者や地域住民の知恵や資源を活かし、子どもたちのより良い成長を支える「地域とともにある学校」を目指すことを目的としています。鳥栖小学校では、「わ をつくろう」を合言葉に、子どもたちに地域の方々ともつながっていくことの大切さを伝えているところです。



具体的には、登下校中を見守ってくださる方がいることで、安心して学校に通えること、生活科や家庭科などの学習のお手伝いをしてくれる方がいるから、学習を楽しく進めることができることなどを伝えているところです。

今後も、保護者と地域、そして学校とが大きく丈夫な「わ」となるよう努めて参ります。みなさんのご協力をお願いします。

不審者対策の避難訓練を行いました

22日、毎年行っている不審者対応の避難訓練を行いました。この日は、5時間目に3階の5年生の教室に不審者が来たことを想定して行いました。

先日、東京都立川市で起きた事件のこともあり、教職員は「起きるかもしれない」という気持ちで、一つ一つの動きを確認しながら進めて参りました。私は、避難行動がスムーズにできているのかを確認して回りましたが、心配していた1年生も、担任の指

示をよく聞いて、事案が収束するまでじっと声を潜めて教室に待機していました。

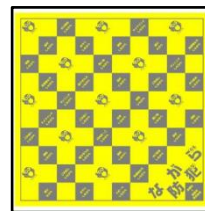
体育館に集合した際には、「命を守るための訓練」であることや訓練の大切さを、警察の方やアドバイザーの方から教わりました。

避難訓練は、不審者対応と地震火災対応の年間2回実施していますが、児童の命を守るために今後も教師の動きを一つ一つ確認しながら取り組んで参ります。

あいさつって大事ですね(^^)

現在、子どもたちを取り巻く環境はとても心配事が多く、顔見知り出ない限り、気軽にあいさつもできないようになってきています。私が子どもの頃は、「不審者」という言葉も聞くことがなかったため、たまたますれ違う方にも「地域の方」という感覚でよくあいさつをしていました(もちろん学校や親からの指導があったからです)。しかし、現在では不審者による声掛け事案や連れ去り事件等の報道もあり、気軽にあいさつもできないような状況となってきました。

鳥栖市では、こんな状況を改善していくために「ながら防犯」に取り組んであります。この取組は、買い物や散歩、通勤や通学などのついでに地域を見守る取組になっています。この取組に参加している方の多くは、目印になるバンダナやネックストラップを身につけているとのこと。この目印を身につけている方を見かけたら、みんなを見守ってくださる方ということで、あいさつできるように指導して参ります。



↑【バンダナ】

「ながら防犯」につきましては、市役所の総務課にてお尋ねください。